

第4次 香芝市総合計画

平成23年度～平成32年度



香芝市の将来像
(10年後のあるべき姿)

笑顔と元気!!

住むなら かしば



第4次香芝市総合計画

発行年月:平成23年3月 発行:香芝市役所 企画部 企画政策課

〒639-0292 奈良県香芝市本町1397番地

TEL 0745-76-2001 FAX 0745-78-3830

はじめに



香芝市長 梅田善久

本市は交通の利便性と緑豊かな自然環境により、良好な住宅都市として発展してきましたが、少子高齢化の進展や経済低迷による雇用問題の深刻化、税収の低下など取り巻く環境は厳しさを増しており、そのような中で地方分権のさらなる進展もあり、本市自らの判断と責任によるまちづくりを行うことが必要となっています。

このたびの第4次総合計画においては、市民と行政の「協働」を強く意識し、市民目線、生活者起点からの計画づくりに取り組んでまいりました。

今後の市政においても市民の一体感の醸成と地域の均衡ある持続可能な発展が大切であり、人と人とのつながりや支え合いを重視した総合計画の将来像である『笑顔と元気!! 住むなら かしば』の実現に向け、活力あるまちづくりに努力してまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力、そしてご参画を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この概要版は、「第4次香芝市総合計画書」本編から主要な項目を抜粋したものですので、詳細については本編をご覧ください。

平成23年3月

総合計画の基本的な考え方

今後のまちづくりにおいて、極めて重要となる“協働”を強く意識した計画となっており、今後も市民及び地域の皆様と手を携えてまちづくりを推進していきます。

また、第4次総合計画はこれまでのように単なる総花網羅的な計画ではなく、市民とともに考え、活動することができる、協働の成果が実感できる現実的な計画とします。

総合計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」と「基本計画」及び、別に定める「実施計画」から構成されています。

基本構想は、平成23年度から平成32年度を計画期間として、まちの将来像を設定し、そのための基本方針と政策・施策を示すものです。

基本計画は、将来像と基本方針の実現を図るための個々の政策・施策を体系的・具体的に示すもので、平成23年度から平成27年度を期間とする前期計画と、その進捗状況等の検証結果により必要な改善を施した平成28年度から平成32年度までの後期計画から構成されます。



まちづくりの展開

「自然・環境」「安全・安心」「都市基盤」「健康・福祉」「子育て・教育」「産業・文化・連携」で掲げる目標を達成するため、最適な行政経営を行ってまいります。



政策1 自然・環境

自然と調和した美しい住環境をめざすまち

地球温暖化防止、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築、二上山の緑や屯鶴峯をはじめとする豊かな自然環境の保全など、市のすべての施策を環境の観点から捉え直し、総合的な施策を推進します。

		めざそう値		
主な指標名 指標説明	現状 (H21)	中間 (H27)	目標 (H32)	
施策1 ゴミの減量化とリサイクルの推進				
ゴミの排出量(家庭系1日一人当たり) 【ゴミ総量/人口/365日】	733g	700g	650g	
市民一人ひとりができること：●ゴミの発生をおさえる ●買物時にマイバッグを持参する				
施策2 環境問題への取り組み強化				
出前講座実施数 【年間出前講座実施数】	9件	15件	20件	
市民一人ひとりができること：●節電を心がける ●門前清掃や一斉清掃を実施する				
施策3 自然環境(緑地)の保護				
自然の保護・再生に対する満足度 【とても満足+ある程度満足していると回答した人数/全回答者数(市民意識調査)】	19.9%	30.0%	40.0%	
市民一人ひとりができること：●個人の山林、農地、家屋の維持・美化に努める ●地主と地域協働して山林の保全をする				
施策4 住環境(景観)の保全				
違反広告物追放推進団体活動回数 【年間違反広告物追放推進団体活動回数】	7回	15回	30回	
市民一人ひとりができること：●花いっぱい運動等に取り組む ●公園で出したゴミは各自が持ち帰る				
施策5 上下水道の整備				
水道料金回収率 【供給単価/給水原価】	88.7%	100%	100%	
市民一人ひとりができること：●節水に努める ●災害時に備えて水を確保する				
施策6 下水道の整備				
下水道人口普及率 【下水道処理人口/市全体行政人口】	58.2%	65.0%	76.0%	
市民一人ひとりができること：●下水道へ接続する				



政策2 安全・安心

安心して、やすらぎを感じることができるまち

地震や台風などの自然災害に対する備えとして、災害対策体制の充実を図るほか、公共施設の耐震化、地域防災力の向上を図ります。また、犯罪の発生を未然に防ぐため、関係機関や各種団体等との連携を強化するとともに、学校での交通安全教室の実施等を活用し、交通安全意識の啓発を行います。



施策7 災害対策の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
公共施設の耐震化率 【耐震化済施設数/公共施設55施設】	72.9%	100%	100%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●地域防災訓練に参加する ●家庭内で防災用品を備蓄する

施策8 防犯活動の強化

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
刑法犯発生件数 【年間刑法犯発生件数】	777件	500件	450件

めざそう値

市民一人ひとりができること：●一戸一灯運動を行う ●子ども等の見守り活動を行う

施策9 交通安全対策の強化

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
放置自転車等撤去台数 【年間放置自転車等撤去台数】	564台	450台	350台

めざそう値

市民一人ひとりができること：●交通ルールを遵守する ●家庭内で交通マナーの教育をする

政策3 都市基盤

快適で便利なまち

新市街地では、土地区画整理事業により整備された公共施設や市街化区域内の農地、未利用地を活用する方向へと転換を図ります。また、交通や都市活動の拠点として駅を中心とした便利なまちづくりを展開するとともに、市街地の求心力を高めます。



施策10 良好な新市街地の形成

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
五位堂第二地区進捗率 【五位堂駅前北第二土地区画整理事業執行済事業費/総事業費】	67.3%	100%	—

めざそう値

市民一人ひとりができること：●まちづくりに対する興味をもつ ●心のバリアフリーを行う

施策11 駅を中心とした拠点機能充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
志都美駅乗車人数 【一日あたりの志都美駅を利用する乗車人数】	1,794人	2,938人	3,232人

めざそう値

市民一人ひとりができること：●まちづくりに対する意識を高める

施策12 道路整備の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
中和幹線(逢坂区間)進捗率 【中和幹線(逢坂区間)事業執行済事業費/総事業費】	91.0%	100%	—

めざそう値

市民一人ひとりができること：●破損、危険箇所を通報する ●美化活動を実施する

政策4 健康・福祉

心豊かに健康に暮らせるまち

「いつでも、いつまでも」安心して暮らすことができるよう、地域医療の充実を図るとともに、市民の健康意識の醸成を図り、疾病予防の取り組みを充実します。福祉分野においては、「自助・共助・公助」の補完性の原理に基づく地域福祉社会を形成し、高齢社会への対応や、誰もが住みやすい福祉環境が充実したまちづくりを展開します。



施策13 地域福祉の推進

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
地域福祉推進委員会組織率 【地域福祉推進委員会/全自治会数】	34.9%	60.0%	100%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●心のふれあいを大切にする ●ボランティアの人づくりなどを地域で行う

施策14 医療体制の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
医師一人あたりの市民数 【人口/市内医師数】	667人	624人	587人

めざそう値

市民一人ひとりができること：●かかりつけ医をもつ ●AEDや救急患者への対応講習会へ参加する

施策15 市民の健康づくりの推進

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
朝食の欠食率 【40歳～64歳で朝食を食べないと回答した人数/全回答者数(保健センター利用者調査)】	7.1%(男性) 5.0%(女性)	5.0%(男性) 3.0%(女性)	0%(男性) 0%(女性)

めざそう値

市民一人ひとりができること：●健診や健康教室へ参加する ●健康への意識を高める

施策16 高齢者福祉の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
65歳～74歳人口に占める要介護認定者の割合 【65歳～74歳要介護認定者数/65歳～74歳人口】	3.71%	3.4%	3.0%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●高齢者への見守り、声かけを積極的に行う

施策17 障害者福祉の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
職業訓練を受け、就労される人数 【福祉サービス支給決定時による調査】	1人	3人	5人

めざそう値

市民一人ひとりができること：●障害者へのあたたかい見守りを行う ●移動で困っている障害者への積極的な介助を行う

施策18 社会保障制度の安定的運用の推進

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
生活保護自立世帯数 【生活保護からの累積自立世帯数(平成21年度より)】	8世帯	30世帯	70世帯

めざそう値

市民一人ひとりができること：●社会保障制度について理解を深める

政策5 子育て・教育

次代を担う「育ち」を見守り、誰もが生涯輝いていられるまち

就学前教育、学校教育を整備しつつ、家庭・学校・地域・行政が連携し、家庭と地域の教育力の向上を図ります。また、青少年の健全育成や子育てしやすい環境を構築するとともに、市民一人ひとりが豊かな生活を送ることができるよう、生涯学習環境の充実を図ります。



施策19 家庭・地域の教育力の向上

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
家庭教育学級参加人数 【家庭教育学級への参加人数(市内幼小中学校13学級)】	326人	332人	357人

めざそう値

市民一人ひとりができること：●子どもとの時間を大切に、子育てを楽しむ ●子どもを地域で育てる意識をもつ

施策 20 就学前教育の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
幼稚園施設等の耐震化 【耐震化実施済棟数/全公立幼稚園棟数】	50.0%	100%	100%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●幼稚園教育に関心を持つ ●よりよい家庭教育を進める

施策 21 学校教育の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
学校施設等の耐震化 【耐震化実施済棟数/全公立小・中学校棟数】	76.4%	100%	100%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●学校活動やボランティア活動へ積極的に参画する ●オープンスクール等に積極的に参加する

施策 22 子ども・若者のフォローアップ(青少年の健全育成)

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市内巡視、店舗立入件数 【年間市内巡視、店舗立入件数】	248件	300件	350件

めざそう値

市民一人ひとりができること：●家庭環境を整える ●子どもへ日常的に声かけをする

施策 23 「だれでも・どこでも・いつでも」学び、楽しめる環境の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市民一人当たりの貸出冊数 【年間貸出冊数/人口】	8.3冊	9.0冊	9.5冊

めざそう値

市民一人ひとりができること：●積極的に生涯学習活動を行う ●学習した知識や経験を地域で活かす

施策 24 子育てと仕事の調和

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
つどいの広場設置数 【つどいの広場設置数】	3箇所	4箇所	5箇所

めざそう値

市民一人ひとりができること：●ワークライフバランス(子育てと仕事の両立)を意識する ●地域で子どもたちを見守り、育てる



政策 6 産業・文化・連携

みんなで創る豊かで将来性のあるまち

地域特性を活かした産業の振興、特産品開発等の確立、地域交流機能を高めるなど、ヒト・モノ・情報が交流する活力あるまちをめざします。さらに、あらゆる世代に人権尊重意識の高揚を図り、国際交流や歴史文化の保全を進めるなど、まちのアイデンティティの構築を図ります。

また、地方分権の推進に伴い、地域におけるコミュニティの強化や社会を構成する市民・家庭・地域・企業・NPO・行政等が役割を分担しながらまちづくりに関わる「協働」の考え方を市全体に浸透させます。

施策 25 産業の振興

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市内中小企業への融資数 【市内中小企業資金融資制度の融資を受けた市内中小企業者に対する、利子及び信用保証料の補助件数】	16件	30件	50件

めざそう値

市民一人ひとりができること：●市内で買い物をする ●市内産業への理解を深める

施策 26 農業の振興

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
有害鳥獣捕獲数 【年間有害鳥獣捕獲数】	25頭	60頭	80頭

めざそう値

市民一人ひとりができること：●地場産品を使って料理をする ●有機栽培を推進する

施策 27 観光の振興

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
観光パンフレット作成枚数 【年間観光パンフレット作成枚数】	3,500枚	5,000枚	5,000枚

めざそう値

市民一人ひとりができること：●市内観光地を再発掘する

施策 28 あらゆる人権を守る社会づくりの確立

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
あらゆる人権を守る社会づくりと意識啓発に対する満足度 【とても満足+ある程度満足していると回答した人数/全回答者数(市民意識調査)】	7.1%	15.0%	20.0%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●人権の問題への理解と認識を高める ●セミナー等へ積極的に参加する

施策 29 男女が共同参画できる地域づくり

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市が設置する審議会等における女性委員の割合 【審議会等における女性委員数/審議会等における委員数】	24.7%	35.0%	50.0%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●セミナー等へ積極的に参加する ●男性も子育てへ積極的に参加する

施策 30 地域コミュニティの充実・醸成

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
ボランティア登録団体数 【ボランティアセンターへの登録団体数】	79団体	85団体	90団体

めざそう値

市民一人ひとりができること：●地域行事に参加・協力する ●地域の中心イベントを創出する

施策 31 文化・国際交流への取り組みの推進

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
ふたかみ文化センター稼働率 【ホール、会議室等全11施設の年間利用件数/年間利用可能部屋数】	42%	50%	60%

めざそう値

市民一人ひとりができること：●参加したいと思えるイベントを自ら企画し地域交流を深める ●市民から文化発信する

施策 32 歴史文化財の保存と継承・展開

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
博物館観覧者数 【年間博物館観覧者数】	8,700人	10,000人	11,000人

めざそう値

市民一人ひとりができること：●文化財を大切にすること ●文化財の保存に協力する

政策 7 市民の信頼を得られる最適経営の自立したまち

「自然・環境」「安全・安心」「都市基盤」「健康・福祉」「子育て・教育」「産業・文化・連携」の政策を着実に推進するため、全ての土台となる健全な行政経営を行います。



施策 33 地域経営システムの確立

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
まちづくりパートナー登録者数 【まちづくりパートナー登録者数】	47人	75人	100人

めざそう値

施策 34 財政運営の健全化

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市債残高 【市債残高】	366億円	270億円	230億円

めざそう値

施策 35 組織活性化の推進

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
職員数 【定員適正化基本方針】	496人	476人	446人

めざそう値

施策 36 IT(情報通信技術)の活用

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
HPアクセス数 【香芝市ホームページへの年間アクセス数】	291,310件	376,000件	416,000件

めざそう値

施策 37 市税等の賦課・徴収の強化

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
市税現年分徴収率 【現年分収入額/現年分調定額】	97.67%	98.00%	98.10%

めざそう値

施策 38 広報・広聴の充実

主な指標名 指標説明	現状(H21)	中間(H27)	目標(H32)
HP「市長の部屋」アクセス数 【トップページへの月平均アクセス数】	525件	787件	1,180件

めざそう値

総合計画の目標実現のために



1. 「協働によるまちづくり」の推進

第4次総合計画に基づくまちづくりでは、継続的に協働の力を発揮することができるよう、市民・行政等の協働、役割分担による市民自治、地域自治を実現することが必要です。

2. 市民と行政の役割分担の考え方

市民と行政の間の信頼関係のもと、市民が行政活動へ積極的に参画し、適切な役割分担を行いながらまちづくりを進めます。

3. 「地域経営によるまちづくり」の推進

総合計画に掲げた、それぞれの施策実現のためには、限られた財源を最大限有効に活用し、本市の身の丈にあった地域経営を実践していくことが必要となります。

①行政マネジメントサイクルの確立

第4次総合計画においては、目標を定めた後、分野ごとに状況を把握し、適切に進捗管理を行っていきます。特に評価(Check)、改善(Action)に力点を置き、循環型のマネジメントサイクル(PDCAサイクル)に取り組みます。

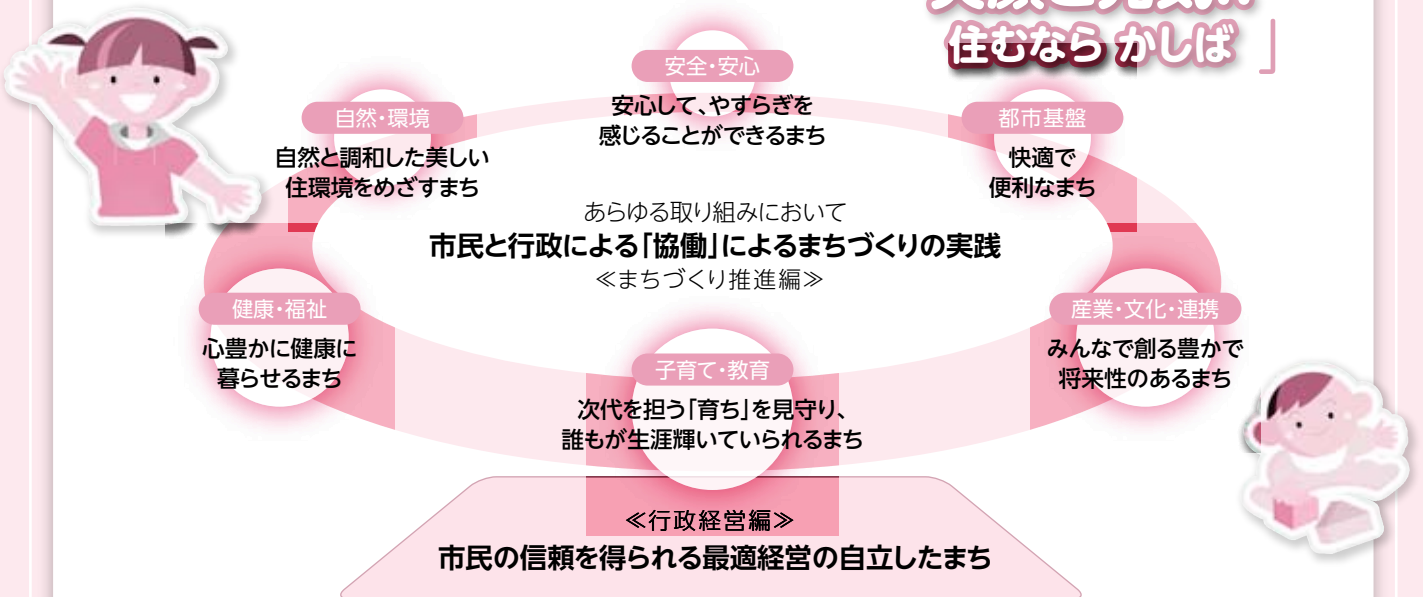
②「選択と集中」による戦略的なまちづくりの考え方

厳しい財政状況のなか、「まず何を選択し、どの施策に力を入れて将来像を実現していくのか」を戦略的にとらえることができる計画とします。本市における様々な取り組みの中から、「選択と集中」により「施策の優先順位づけ」や「行財政資源の効果的かつ効率的な配分」を行います。

4. 目標達成に向けた総合計画推進イメージ

●まちの将来像(計画全体の目標)

「笑顔と元気!!
住むならかしぼ」



今後も市民から信頼され、そして親しみやすい「市役所づくり」を土台として、市民ニーズに的確に対応した「自然・環境」「安全・安心」「都市基盤」「健康・福祉」「子育て・教育」「産業・文化・連携」に掲げる目標の実現をめざします。